

シンポジウム | シンポジウム | [シンポジウム6] 診療参加型臨床実習マニュアルを老年歯科医学教育に活かす

シンポジウム6

診療参加型臨床実習マニュアルを老年歯科医学教育に活かす

座長：

小笠原 正（よこすな歯科クリニック）

會田 英紀（北海道医療大学 歯学部 高齢者・有病者歯科学分野）

2023年6月18日(日) 08:20 ～ 09:20 第1会場 (1階 G4)

企画：教育委員会

【小笠原 正先生 略歴】

1983年 松本歯科大学卒業

松本歯科大学障害者歯科学講座助手

1990年 松本歯科大学講師（障害者歯科学講座）

2000年 松本歯科大学助教授

2007年 松本歯科大学教授（特殊診療科、大学院健康増進口腔科学講座）

2019年 広島大学客員教授

2021年12月 松本歯科大学退職

2022年4月 よこすな歯科クリニック（静岡市清水区：障害者のための歯科診療所）

【所属学会】

日本障害者歯科学会（理事長、代議員、専門医指導医、専門医、認定医指導医、認定医）

日本老年歯科医学会（代議員、指導医、認定医、専門医、教育委員会オブザーバー）

日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員、認定士、認定委員会委員）

日本有病者歯科学会（会員）

日本環境感染学会（会員）

日本歯科麻酔学会（会員）

【會田 英紀先生 略歴】

1993年 北海道大学歯学部卒業

1997年 北海道大学大学院歯学研究科修了

1997年 北海道大学歯学部附属病院 第2補綴科 助手

1998年 北海道大学歯学部 歯科補綴学第二講座 助手

2003～2005年、2007～2008年 UCLA Weintraub Center客員研究員

2008年 北海道医療大学歯学部 咬合再建補綴学分野 講師

2010年 北海道医療大学歯学部 咬合再建補綴学分野 准教授

2016年 北海道医療大学歯学部 高齢者・有病者歯科学分野 教授

2016～2018年 北海道医療大学歯学部 歯学教育開発学分野 教授（兼任）

[SY6-3]嚥下内視鏡検査

○中根 綾子¹ (1. JCHO東京新宿メディカルセンター 歯科・歯科口腔外科)

【略歴】

2002年 松本歯科大学歯学部卒業

2006年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

高齢者歯科学分野 修了

2006年 東京医科歯科大学歯学部附属病院

高齢者歯科 医員

2007年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
高齢者歯科学分野 助教
2020年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
摂食嚥下リハビリテーション学分野 助教
2023年 JCHO東京新宿メディカルセンター
歯科・歯科口腔外科 部長

【抄録（Abstract）】

東京医科歯科大学の包括臨床実習は、第5学年後期のPhaseⅠおよびPhaseⅡ（A）、第6学年前期後期のPhaseⅡ（B）、第6学年後期のPhaseⅢに分かれている。実際に患者の診療を実施するPhaseⅡの時期に、2020年より摂食嚥下リハビリテーション科の各科実習として老年歯科医学会公開の参加型臨床実習マニュアルを使用し「摂食嚥下障害のスクリーニング検査」や「嚥下内視鏡検査」の講義と相互実習や模型実習を行っている。

今回は、参加型臨床実習マニュアルを使用した「嚥下内視鏡検査」の講義や模型実習について、教育担当者と学生に対しアンケート調査を行ったので、その結果も含めて実習の様子をご紹介します。

（東京医科歯科大学 統合教育機構倫理審査委員会 承認番号 C2022-044）